

いわて
くじし

こころの体験



岩手県 久慈市
ふるさと体験学習協会

笑顔あふれる くじしの体験

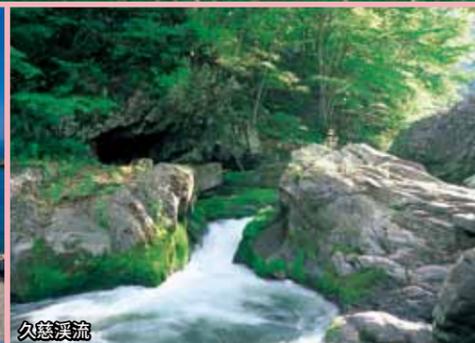
久慈市の“ふるさと体験学習協会”は、農林水産省、文部科学省、総務省が連携する「子ども農山漁村交流プロジェクト」のモデル地域に指定されました。このプロジェクトは、子どもたちの学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育み、力強い成長を支える教育活動として、小学校における農山漁村での長期宿泊体験活動を推進するものです。



平庭高原白樺林



舟渡海水浴場



久慈溪流



日本短角牛

くじしの位置

久慈市は、北上山系の北東部に位置し、陸中海岸国立公園と久慈平庭県立自然公園に囲まれた、海の幸、山の幸に恵まれた風光明媚なまちです。総面積は623.14km²で東京23区の622km²と同じくらいです。

西側の山形地区は、面積の95%が山林という豊かな自然に囲まれた農山村です。直線距離で19km離れた中心市街地は太平洋に面し、175万キロリットルを備蓄する久慈国家石油備蓄基地を備えています。

山形地区はヤマセによる冷涼な気候を利用して栽培する雨よけほうれん草と放牧による健康で安全な日本短角牛が高い評価を得ています。また豊かな山林を利用した木炭とシイタケ生産は県内でも有数の産地となっています。

一方、寒流と暖流が交錯する久慈近海一帯は古くから好漁場として知られ、水産資源に恵まれていることから、定置網や漁船での捕獲、アワビ、ウニ、ホヤなどの磯漁が盛んに行われています。



久慈琥珀



北限の海女



つりがね洞

くじしの特色

夏でも冷涼なこの地域には、雑穀を使った伝統食が数多くあります。培われてきた食文化を体験し、本物のスローフードを学びます。もう一つ、国内最大の産出を誇る琥珀も久慈ならではの特産品です。久慈琥珀博物館では、琥珀のアクセサリー作り体験ができます。

温かな人柄と個性豊かな自然・産業に触れられる久慈市で体験いただけますよう、地域を挙げて、心よりお待ちしております。

くじしの体験

独自の山村文化体験、農林業体験、自然をありのままに味わうシャワークライミングなど地域資源を活かした多様な体験学習プログラムとプランを提供しています。また、50名の体験インストラクターが在籍していることから、体験時の安全管理に関する要望にも十分に対応できます。アクセス面では、岩手県の北部に位置していることから、盛岡市のみでなく、青森県八戸市からの移動も可能です。



“子ども農山漁村交流プロジェクト”とは？

子ども農山漁村交流プロジェクトとは、児童が自宅を離れ自然豊かな農山漁村に宿泊し、普段の生活とは異なる環境や人間関係の中に身を置き、様々な実体験を行うことで、子どもたちの新たな一面を引き出し、成長を促す効果を期待するものです。子どもたちは体験活動を経験してたくましく成長します。

【活動・体験】 長期の宿泊体験／農林漁家での民泊により農山漁村の生活を体験／農林漁業体験を通して食の大切さを学ぶ

【期待される教育的な効果】 学ぶ意欲や自立心が育まれる／食の大切さを学べる／思いやりの心や豊かな人間性・社会性などが育まれる／社会規範や生活技術が身に付く



◆子どもたちの声

この体験学習で、学んだことは「自然の大切さ」についてでした。洞窟探検をした洞窟も自然が作ったものだし、シャワークライミングをした川がきれいなもの、おいしいウニやホヤが獲れるのも自然が豊かだからだと思いました。だから僕は、自然が大切だと思いました。僕の地元も自然が豊かな町なので、その自然を守ってみたいです。

様々な体験の中で、私が1番心に残った体験は、シャワークライミングです。最初から最後まで、みんなで協力し、手を取り合いながら、滝を登ったり、泳いだりできたので良かったです。最後まで登り切ることができ、大きな滝の所をすべり台みたいに滑れました。とてもうれしく、楽しかったし、最後までがんばれたことで、自然と「笑顔」になれました。

◆先生からの声

民泊先を訪ね、あるお宅の裏手に案内していただいたとき、田んぼに写る背景の山並みを見て、蛙の声、そして温かなおじいさま、おばあさまの声を聞いて、自分自身が40年前の幼少期にタイムスリップしたような気持ちになり、わずか数分のことなのに別れ際、目頭が熱くなりました。現在の都会では味わえない感動でした。

宿泊体験 モデルプランの概要 久慈やまがた

ここのこの体験



森づくり体験

本当に豊かで美しい森は適切な手入れをする必要があります。林業の専門家から自然や森の成り立ちを学び、道具の使い方などの講習を受け、除間伐、下草刈りの体験をします。



カヌー&カヤック

美しい樹木に囲まれた静かなため池でのカヌー・カヤック体験です。指導者から操作の仕方や楽しみ方を学ぶことができ、爽快な気分を味わえます。



フォレストボード

「車椅子などの方でも自然に親しめるように」と作る森の中の木道です。板を購入してもらい、好きな絵や文字を自由に書き、木道のレールに打ち付けてもらう森のボランティア活動です。



郷土料理づくり

まめぶ、ほど餅、みみっこもち、そば等の郷土料理を作ります。伝統食について学びながら、健康的で安全なスローフードを自分たちで作って、食べましょう。代々伝わる名人技と味を体験します。



炭焼き体験

岩手県認定のチャコールマスターと共に、実際の炭焼きを行います。また人と自然にやさしい利用方法や効能なども学びます。

内間木溪流シャワークライミング



内間木溪流の流れに逆らって上流に登っていきます。所々に深みや、小さな滝、流れの急なところがあり、協力することの大切さを感じられます。



農業体験

冷涼な気候を活かした、ほうれん草をはじめとした野菜作りが行われています。野菜作りの基礎知識(土壌作りや草取り)や安全な食作りなど、作業を通して学びます。



木皮工芸

木皮・竹などの天然素材を利用して作られる伝統的な工芸方法を学びます。生活の知恵から生まれた技や、手作りの温かみを実感できます。

白樺、ブナ林エコトレッキング



日本最大級の白樺林やブナの原生林、四季の山野草が咲く草原を巡る大自然満喫のトレッキングです。動植物、水生生物などの観察も楽しめます。



内間木洞探検

総延長6,000mを超す国内有数の鍾乳洞。自然の作り出すさまざまな造形物がひっそりと歓迎してくれます。古代人の石器も発見された洞窟で、原始時代にタイムスリップ。



豆腐づくり

豆腐づくりは代々伝わる家庭料理。その工程は全部手作り。だからおいしい!大豆の豊富な香りと食感が絶品です。



木工体験

間伐材を使ったコースターや壁掛けなどの小物作りを体験します。糸ノコなどの木工機械を使って、世界に一つだけの作品を作ります。



ツリーイング

木を傷めることなく、驚くほど簡単に木登りを体験することができます。普段とは違った視点から眺める森の景色と、そこでの気持ちの良さを存分に味わいましょう。

アドベンチャープログラム



山菜やキノコなどの食べ物、様々な場面で必要な木材、それらの豊かな森の恵みを自分たちの手で得て、火おこし、木工、山菜料理などを工夫して、アドベンチャー生活体験をします。

平庭高原オリエンテーリング



コンパスの使い方、地図の見方をまずマスターしてから、グループに分かれて、目的地に向かってスタート。自然の中で活動するスキルとチームワークが学べます。

スノーシュートレッキング



スノーシュー(西洋かんじき)を履いて雪原をトレッキングします。ウサギやキツネ、タヌキなどの動物の足跡を観察することもできます。

タイムスケジュール(モデルプラン)

	午前	午後	宿泊
1日目	入村式、トレッキング	インストラクターとの対面、オリエンテーション	公的宿泊施設
2日目	内間木洞探検 洞窟の仕組みや、周辺の地層、流れる水、動植物などの観察	シャワークライミング、キャンプファイヤー 予測できない流れに逆らって、ゴールを目指し困難に打ち勝つ心や協調性を養う	公的宿泊施設
3日目	施設案内(ハウス等見学) 各農家において、農家の生活を体験する	草取り体験・整地体験 雑草等の除去整地、鍬等耕作用の器具を実際使用しての整地	農村民泊
4日目	収穫体験 農家の方から説明を受け、規格内のほうれん草収穫	調整作業・出荷体験 ほうれん草の調整作業・箱詰め等、農協等出荷先の見学	農村民泊
5日目	フォレストボード 板に好きな絵や、文字を書いて打ち付ける	離村式 受入農家・インストラクターとのお別れ会	

安全・衛生対策

児童・生徒の皆さんと引率される方々の安全を考慮し、次のような対策を講じています。

1) 事故の予防

- ◆窓口担当は次の点に注意しています。
 - ・各校との十分な情報交換
 - ・児童の配慮事項の収集と情報提供（収集した個人情報厳重に管理します。）
 - ・天候の悪化や有害生物の発生の際の基準マニュアル設定
- ◆受入を行う農林漁家や他の施設には、次の点に注意・説明してあります。
 - ・安全マニュアルの配布・説明
 - ・受入直前の説明会と受入後の反省会
 - ・保健所による衛生教育
- ◆フィールドでは次の点に注意します。
 - ・関係者への応急処置研修
 - ・実施直前の現地・機材の安全確認
 - ・現場判断がつかない場合の本部確認
 - ・トラック移動の際の荷台乗車禁止と整備・損害保険の加入

2) 事故の発生時の初期対応

- ・緊急時の連絡は協議会の窓口組織が担当
- ・地域内の病院、消防署、警察署等と緊急連絡体制整備
- ・受入関係者へ連絡体制の図と連絡簿を配布し緊急連絡先の周知
- ・緊急連絡の際は、窓口組織が状況を統括し学校等へ報告

3) 事故の補償に関する項目

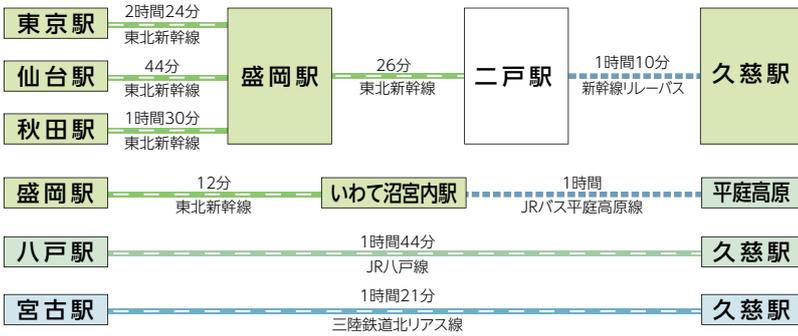
- ・民泊の農林漁家ほか全施設の損害賠償責任保険の加入



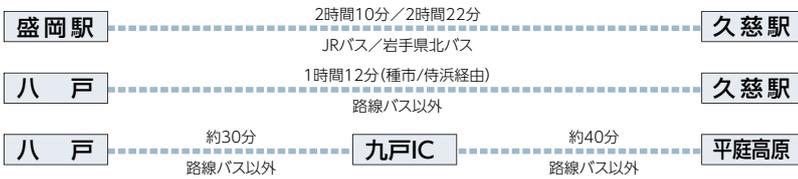
交通のご案内 ACCESS INFORMATION



■新幹線・東北本線・三陸鉄道



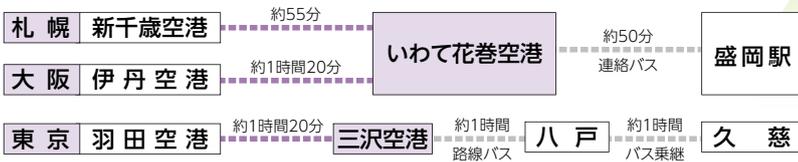
■バスの場合



■お車の場合



■飛行機の場合



*記載の時間は、おおよその時間ですのでご旅行の際は、スケジュールをよく確認の上、余裕を持ってお出かけ下さい。
*市内の移動には市民バスをご利用下さい。



岩手県久慈市

ふるさと体験学習協会

TEL 0194 (75) 3005 / FAX 0194 (75) 3007

久慈市交流促進課

TEL 0194 (52) 2168 (直通) / FAX 0194 (52) 3653

<http://www.city.kuji.iwate.jp/>